

日野市地域防災計画

(令和~~7~~**8**年度修正案)

【資料編】



日野市防災会議

第9 水防警報の種類

種類	内容	発表基準
待機	1. 出水あるいは水位の再上昇が予想される場合に、状況に応じて直ちに水防機関が出動できるように待機する必要がある旨を警告するもの。 2. 水防機関の出動期間が長引くような場合に、出動人員を減らしても差し支えないが、水防活動をやめることはできない旨を警告するもの。	気象予報、警報などと河川状況により、特に必要と判断されるとき。
準備	水防活動に関する情報連絡、水防資器材の整備、水閘門機能等の点検、通信及び輸送の確保等に努めるとともに、水防機関に出動の準備をさせる必要がある旨を警告するもの。	雨量、水位、流量などの河川状況で必要と判断されたとき。 水防団待機水位（指定水位）に達し 氾濫注意水位（警戒水位レベル2水位）を越えるおそれがあるとき。
出動	水防機関が出動する必要がある旨を警告するもの。	氾濫注意水位（警戒水位レベル2水位）を越えるおそれがあるとき。 水位、流量などの河川状況で必要と判断されたとき。
指示	水位、滞水時間その他水防活動上必要な状況を明示するとともに、越水、漏水、堤防斜面の崩れ・亀裂その他河川状況により警戒を必要とする事項を指摘して警告するもの。	氾濫警戒情報レベル3 氾濫警報が発表されたり、すでに氾濫注意水位（警戒水位レベル2水位）を越えて災害の起こるおそれがあるとき。
解除	水防活動を必要とする出水状況が解消した旨及び当該基準水位観測所による一連の水防警報を解除する旨を通告するもの。	氾濫注意水位（警戒水位レベル2水位）以下に下がったとき。氾濫注意水位（警戒水位レベル2水位）以上であっても、水防活動を必要とする河川状況でないと判断されたとき。
情報	雨量・水位の状況、水位予測、河川・流域の状況等水防活動上必要なもの	状況により必要と認めるとき。

第10 特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表

令和8年5月28日現在

特別警報	レベル5大雨	表面雨量指数基準	レベル5大雨特別警報の基準値42以上となる1km格子がおおむね30個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル5大雨特別警報の基準値以上となる1km格子がおおむね20個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
	レベル5土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-1の基準値以上となる1km格子がおおむね10個以上まとまって出現し、さらに激しい雨が降り続くと予想される場合
	暴風	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹く	と予想される場合
	暴風雪	中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上の台風や同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹く	と予想される場合
	大雪	府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合	
危険警報	レベル4大雨	表面雨量指数基準	別紙1-3の対象格子においてレベル4大雨危険警報の基準値28に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-4の対象河川の格子において別紙1-2のレベル4大雨危険警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル4土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-2のレベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合（おおむね2時間先までに基準値に到達することが予想される場合に発表）
警報	レベル3大雨	表面雨量指数基準	レベル3大雨警報の基準値22に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
		複合基準 *1	別紙1-2のレベル3大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル3土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-2のレベル4土砂災害危険警報の基準値に到達することが予想される場合（概ね3～6時間先に基準値に到達することが予想される場合に発表）
	暴風	平均風速	25m/s
	暴風雪	平均風速	25m/s 雪を伴う
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm
注意報	レベル2大雨	表面雨量指数基準	レベル2大雨警報の基準値14に到達することが予想される場合
		流域雨量指数基準	別紙1-2のレベル2大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
		複合基準 *1	別紙1-2のレベル2大雨警報の基準値に到達することが予想される場合
	レベル3土砂災害	60分雨量及び土壌雨量指数基準	別紙2-3のレベル2土砂災害注意報の基準値に到達することが予想される場合
	強風	平均風速	13m/s
	風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う
	大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ5cm
	雷	落雷等により被害が予想される場合	
	濃霧	程度	100m
	乾燥	最小湿度25%で実効湿度50%	
	低温	夏季（平均気温）：平年より5℃以上低い日が3日続いた後、さらに2日以上続くとき 冬季（最低気温）：-7℃以下、多摩西部は-9℃以下	
	霜	晩霜期 最低気温2℃以下	
	着氷・着雪	大雪警報の条件下で気温が-2℃～2℃の時	
レベル5氾濫特別警報・レベル4氾濫危険警報・レベル3氾濫警報・レベル2氾濫注意報の発表対象となる河川予報区名及び基準観測所名		多摩川 調布橋、石原 浅川 浅川橋	

*1 表面雨量指数と流域雨量指数の組み合わせによる基準値を表しています。
別紙については気象庁HPでご確認願います。

4 その他主な防災気象情報

分類	説明
気象情報 気象防災速報・ 気象解説情報	気象庁は、警報・注意報に先立って注意・警戒を呼びかけたり、警報・注意報の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点等を解説したりするために「気象情報」という情報を発表しています。 気象情報は、発表する地域によって、全国を対象とする「全般気象情報」、全国を41に分けた地方予報区を対象とする「地方気象情報」、都道府県（北海道や沖縄県ではさらに細かい単位）を対象とする「府県気象情報」の3種に分けて発表されます。また、「大雨」「大雪」「暴風」「暴風雪」「高波」「低気圧」「雷」など、現象の種類によって様々な種類の気象情報が発表されています。 なお、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する「顕著な大雨に関する気象情報」が発表されます。 また、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨を観測したときに、より一層の警戒を呼びかけるときには、「記録的短時間大雨情報」という情報が発表されます。 ○警戒レベル相当情報やそれ以外の警報等を補足する情報として、線状降水帯など顕著現象が発生または発生しつつある場合に「<u>気象防災情報</u>」を発表します。 ○現在・今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しなどを網羅的に開設する情報として、「気象解説情報」も適宜に発表します。 気象防災速報…極端な現象を速報的に伝える情報 （令和8年度出水期～） 気象防災速報（記録的短時間大雨・線状降水帯発生・線状降水帯直前予測） 気象解説情報…現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 （令和8年度出水期～） 気象解説情報（線状降水帯半日前予測・台風第○号・大雨）
顕著な大雨に関する気象情報	大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で実際に降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報です。 この情報は警戒レベル相当情報を補足する情報で、警戒レベル4相当以上の状況で発表します。
台風情報	台風の中心位置、進行方向と速度、中心気圧、最大風速等の実況値等のほか、3日先までの台風予報、5日進路予想など台風に関する情報を見ることができます。

分類	説明
記録的短時間大雨情報	大雨警報を発表中に、数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測したり解析したりしたときに発表します。この情報は、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせするために、大雨を観測した観測点名や市町村等を明記して発表されます。
指定河川洪水予報	（気象庁が国土交通省又は都道府県の機関と共同で発表） 河川の増水やはん濫 氾濫 などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、あらかじめ指定した河川について、区間を決めて水位又は流量を示した洪水の予報をしており、これを「指定河川洪水予報」といいます。指定河川洪水予報の標題には、はん濫 氾濫 注意情報レベル2 氾濫注意報、はん濫 氾濫 警戒情報レベル3 氾濫警戒報、はん濫 氾濫 危険情報レベル4 氾濫危険警戒報、はん濫 氾濫 発生情報レベル5 氾濫発生情報(レベル5 氾濫特別警戒報)の4つがあり、河川名を付して「〇〇川はん濫 氾濫 注意情報レベル2 氾濫注意報」「△△川はん濫 氾濫 警戒情報レベル3 氾濫警戒報」のように発表されます。
土砂災害警戒情報 ↓ 5/29 以降要検討	（気象庁が都道府県と共同で発表） 大雨警報（土砂災害）が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度がさらに高まったときに、市町村長の避難指示等の判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報です。
土砂キキクル （大雨警報（土砂災害）の危険度分布	大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で1km 四方の領域（メッシュ）ごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報等が発表されたときには、土砂キキクル（大雨警報（土砂災害）の危険度分布）により、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。
解析雨量	解析雨量は、国土交通省と気象庁が全国に設置している気象レーダーと、アメダス及び自治体等の地上の雨量計を組み合わせ、雨量分布を1km 四方の細かさで解析したものです。解析雨量を利用すると、雨量計の観測網にかからないような局地的な強雨を把握することができます。
今後の雨（降水短時間予報）・雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）	今後の雨（降水短時間予報）は、解析雨量をもとに15時間先までの各1時間雨量を予報したもので、今後数時間の大雨（集中豪雨）の動向を把握して、避難行動や防災活動に利用することができます。雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）は最新の雨量の実況分布をもとにした予報で、目先数十分の強い雨（局地的大雨）で発生する水害などに対して、迅速な防災活動に利用することができます。
竜巻注意情報	積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバーストなどの激しい突風に対して注意を呼びかける情報で、雷注意報を補足する情報として、各地の气象台等から担当地域を対象に発表されます。 竜巻注意情報は、竜巻発生確度ナウキャストで発生確度2が現れた地域に発表されるほか、目撃情報が得られて竜巻等が発生するおそれが高まったと判断された場合にも発表されており、有効期間は発表から約1時間です。

日野市地域防災計画修正の経過

作成または修正の年度	備考
昭和 43 年 1 月	日野市地域防災計画策定
昭和 46 年 3 月	一部修正
昭和 48 年 3 月	一部修正
昭和 49 年 9 月	一部修正（加除式）
平成 2 年度	一部修正（加除式）
平成 6 年度	一部修正（加除式）
平成 8 年度	一部修正
平成 10 年度	一部修正
平成 17 年度	一部修正
平成 25 年度 （平成 26 年 3 月）	平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を踏まえ、 本冊及び別冊資料編として全部修正。 本冊に震災編、風水害編、大規模事故編、火山災害編、原子力災害編、東海地震対策編（警戒宣言に伴う対応措置）を収載。 資料編を別冊とする。
令和 3 年度	地震災害対策編、風水害・特殊災害編、別冊資料編として全部修正。
令和 5 年度	一部修正
令和 7 年度	一部修正
令和 8 年度	一部修正

日野市地域防災計画

（令和 7~~8~~年度修正）

【資料編】

令和 8 年 3~~6~~月発行

編集発行 日野市防災会議
（事務局）日野市総務部防災安全課
〒191-0016 日野市神明 1-11-16
電話 代表 042-585-1111